

2019（平成31）年度事業計画について

1、基本方針

(1) コンソーシアム活性化ワーキングの実施（継続）

18歳人口減少に伴い大学等間・地域間の学生獲得競争が激化している。学生から選ばれる、学んで良かったと思われる大学・短期大学および地域となるためには、多様な学習機会の提供や魅力的で質の高い教育、県内高校との高大接続の促進などが急務である。「私立大学等改革総合支援事業（タイプ5）」が県内大学で採択され、県内の大学間における関係事業の進展が見込まれている。それらを前提に、大学等が集積しているスケールメリットを活かすため、大学等を超えた高等教育振興策等を研究開発する。

(2) SDGsの推進（継続）

国連で採択されたSDGsの滋賀県における普及推進に向けて、各大学等で取り組む学生生活動について情報共有するとともに、県内の大学・自治体・経済団体や学生が連携した取り組みについて支援する。

(3) 施設管理費・人件費を事業費と管理経費とに按分

各事業遂行に直接必要な共通経費については事業費とする。

については、施設管理費・人件費に関し、事業費と管理経費とに按分して予算化し、執行する。按分比率は事業費8に対し管理経費を2とする。

2、事業の実施

() 内は前年予算額

(1) 大学地域課題解決支援事業 【2,283,000円】 (2,200,000円)

1) 方針

- ① 平成30年度に新規採択した事業（9件）については、中間報告会や報告書により進行状況を確認し、その成果を大学と地域が共有し教育研究等の活性化やコンソーシアム全体としての情報発信に寄与しているかという観点で精査し、より充実した成果が望める事業に限り2年目の事業予算を措置する。加えて平成31年度の新規事業についても申請内容を精査し選考を行う。
- ② 大学地域交流フェスタを彦根市と共催し、学生団体と地域団体や地域リーダーとの交流を図った。引き続き、会員市（彦根市）との共催により地域との交流を行う。
- ③ 終了したプロジェクトの評価、実施中のプロジェクトの指導・助言、次年度プロジェクトの適切な選考のために、主な大学等の教員からなる「選考委員

会」を設置した。次年度も継続して「選考委員会」を設置する。

2) 予算案	2,283,000 円
① 大学地域課題解決グループ助成	180 万円
② 大学地域交流フェスタ開催費	28.3 万円
③ 「選考委員会」選考謝礼等	20 万円

(2) 学生支援事業 【1,000,000 円】 (100,000 円)

1) 方針

- ① 平成 30 年度に引き続き「SDGs 学生委員会」を設け、各大学等で実施される学生主体のSDGsの普及推進にむけた取り組みについて情報共有する場とし、学生間の積極的な参加と交流を促進する。
- ② 学生の視点を活かしたSDGsを切り口にした滋賀の魅力を発信するための動画コンテンツ制作を業者委託により行う。完成した「滋賀のSDGs・PR動画」は、環びわ湖大学・地域コンソーシアム等のホームページに掲載し、事業の成果物として発信する。
- ③ これらの取り組みを、課題解決支援事業部会が開催する「地域交流フェスタ」において発表する。

2) 予算案	1,000,000 円
① SDGs 学生委員会活動交通費 (継続)	15 万円
② 学生による「滋賀のSDGs・PR動画」製作	85 万円

(3) 就職支援事業 【250,000 円】 (200,000 円)

1) 方針

- ① 平成 30 年度は、滋賀で就職を考える学生に合同企業説明会等の情報提供を行うとともに、「しが就活塾」などに滋賀県などと一緒に取り組んだ。
引き続き、「学生の県内就職準備活動の支援」に活動の重点を置き、「しが就活塾」について関係機関等と合同開催に取り組むとともに、インターンシップの促進や学生の就業促進について、県やCOC+の取り組みを支援する。
- ② 行政機関、経済団体等と協力し、滋賀県内の優良企業を広く学生に認知を促すとともに、より多くのマッチングを実現するために平成 30 年度同様、県・市・経済団体等が開催する合同企業説明会に共催・協力として取り組む。
- ③ 滋賀経済産業協会の協力により、実施を希望する大学向けに企業採用担当者による模擬面接会を実施する。
- ④ 大学等の就職支援担当職員の研修を実施する。

2) 予算案	250,000 円	
① 合同企業説明会の支援 (継続)		0 万円
② 学生合同業界研究事業 (「環びわ・しが就活塾」)		15 万円
③ 大学就職担当者・企業人事担当者情報交換会		5 万円
④ 大学等就職支援担当職員研修会の開催		5 万円
⑤ 就職支援関係機関連絡会議の開催		0 万円

(4) 単位互換事業 【1,400,000 円】 (1,400,000 円)

1) 方針

- ① 単位互換事業として、各大学から提供される科目の単位取得事務を継続する。
- ② 単位互換パンフレットの内容を更新する。
- ③ 大学間共同PBL科目として開設した「おうみ学生未来塾」を継続する。

2) 予算案

① 単位互換パンフレットの内容更新・印刷		50 万円
② 「おうみ学生未来塾」開講助成 (300 千円×3 大学)		90 万円

(5) 広報事業 (事務局担当) 【300,000 円】 (500,000 円)

① ホームページ作成用ソフト購入	24 万円
② レンタルサーバー契約料	6 万円

(6) 全国大学コンソーシアム協議会事業 【190,000 円】 (150,000 円)

① 協議会会費		3 万円
② 研究交流大会	キャンパスコンソーシアム熊本 (熊本学園大学)	
	参加費・資料費、旅費 (熊本・2 名分)	16 万円

(7) 滋賀県からの委託料<予定> 【1,300,000 円】 (1,300,000 円)

大学連携政策研究事業

「県内大学等におけるリカレント教育振興のための政策研究事業」

人生 100 年時代を迎え、より長いスパンで個々人の人生の再設計が可能となる社会を実現するため、何歳になっても学び直し、職場復帰、転職が可能となるリカレント教育を抜本的に拡充する必要がある。また、大学等においては、様々な年齢や経験を持つ学生が相互に刺激を与えながら切磋琢磨するキャンパスを実現するため、多様な年齢層の多様なニーズを持った学生に教育できる体制が必要となる。大学等におけるリカレント教育の推進に向けた取組の具体的な内容や課題

を取りまとめ、今後の取組を促進するための基礎とする。

130 万円

(8) コンソーシアム活性化ワーキングの実施 【700,000 円】 (0 円)

18 歳人口減少に伴い大学等間・地域間の学生獲得競争が激化している。学生から選ばれる、学んで良かったと思われる大学・短期大学および地域となるためには、多様な学習機会の提供や魅力的で質の高い教育、県内高校との高大接続の促進などが急務である。「私立大学等改革総合支援事業（タイプ5）」が県内大学で採択され、県内の大学間における連係事業の進展が見込まれている。それらを前提に、大学等が集積しているスケールメリットを活かすため、大学等を超えた高等教育振興策等を研究開発する。

- | | |
|------------|-------|
| ① 委員謝金・交通費 | 49 万円 |
| ② 調査旅費等 | 21 万円 |

3、管理運営

(1) 顧問料 【 372, 000 円】 (360,000 円)

顧問には平成 30 年度から引き続き、滋賀の高等教育の今後の方向とそれに対するコンソーシアムの役割の基本方針を検討する重要な時期にあたるため、月額 3 万円の相談料及び交通費を計上する。

なお、顧問に関しては、すべて事業費とする。

(2) 事務所賃借料負担金 【2,826, 000 円】 (4,000, 000 円)

滋賀大学大津サテライトと共同利用の日本生命大津ビルの定期賃貸契約を 2018 年 9 月 30 日で終了し、事務室を返却し改めて契約をしたことによる賃借料を減じる。また、2019 年 10 月 1 日からの消費税増を見込んで予算化する。

なお、室料、光熱水費等に関しては事業費と管理経費を 8 : 2 で按分する。

看板掲出料はすべて管理経費とする。

○室料 月額賃料 175,740 円 (旧 235,318 円) + 税=2,300,000 円

(平成 30 年度) 235,318 円×6 月+175,740*1.08 円×6 月=2,550,704 円

内 事業費 1,840,000 円、 管理経費 460,000 円

○看板掲出料 月額 21,600 円*12 月=260,000 円

内 管理経費 260,000 円

2019(平成31)年度 大学地域連携課題解決支援事業部会 事業計画

1. 事業方針

地方創生にふさわしい持続可能なまちづくり、歴史に学びながら未来を切り拓くまちづくりを進めるため、地域の課題解決に大学と地域（自治体や地域住民など）と連携して取り組む大学地域連携課題解決支援事業の効果的な実施に取り組む。

また、これらの事業を活用して、地域住民や自治体と大学・学生との交流の活性化など、双方が共に発展できる機会を創造する。

2. 主な取り組み

○大学地域連携課題解決支援事業（継続）

平成30年度に新規採択した事業（9件）については、中間報告会や報告書により進行状況を確認し、その成果を大学と地域が共有し教育研究等の活性化やコンソーシアム全体としての情報発信に寄与しているかという観点で精査し、より充実した成果が望める事業に限り2年目の事業予算を措置する。加えて平成31年度の新規事業についても申請内容を精査し選考を行う。

（事業概要等）

・地域における様々な課題の解決に向けて、大学と地域が協働で取り組む教員と学生の活動、学生同士の活動に対して、活動助成を行う。

・1プロジェクトの支援額は単年度15万円を限度とし、採択件数は新規・継続事業を合わせて12件程度とする。

・助成対象はコンソーシアムに加盟する自治体（滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、甲賀市、東近江市）と連携する事業とする。単年度もしくは2年の事業計画を提出してもらい審査を行う。

・11月頃に会員自治体・住民と大学・大学生のさらなる交流を促進するため「環びわ湖大学地域交流フェスタ」を開催し、地域リーダーや住民団体等と大学・学生との積極的な交流プログラムを実行する。

・「環びわ湖大学地域交流フェスタ」において、支援事業の中間報告会を行い、各事業の進捗状況を確認する。

（平成31年度事業スケジュール）

平成31年1月11日～2月22日	支援事業募集期間
3月18日	総会において申請状況の報告（選考委員会への一任）
3月29日（予定）	選考委員会において採択（助成金）の審議
4月中旬頃～年度末	支援（助成）期間
11月頃	中間報告会（環びわ湖大学地域交流フェスタ〈彦根市〉）
2月下旬	報告書提出

3. 事業予算案 228万3千円

〈内訳〉

大学地域連携課題解決支援事業助成金	180万円
支援事業選考委員会費	20万円
大学地域交流フェスタ事業費	28.3万円

以上

2019(平成31)年度 学生支援事業部会 事業計画

(事業計画概要)

1. 2019(平成31)年度学生支援事業計画について

平成30年度の学生支援事業は、SDGs(国連「持続可能な開発目標」)にかかる取組の推進をメインテーマとし、学生間の交流の場を企画するとともに県内大学においてそれぞれの特色を生かしたSDGs関連事業を実施した。勉強会や交流会等の体験を通じて、参加学生がSDGsにかかる理解を深め、それぞれの大学における取組の推進に資するとともに大学間ネットワーク構築を図ることができた。一方で、参加学生がより主体的に本事業に関わる機会を増やしたり、興味をもって取り組める成果物を用意するなどの工夫が必要である。

これらを踏まえ、次年度も引き続きSDGsをメインテーマと位置づけ、これまでの活動をより発展した大学間連携事業等を実施したい。実施に当たっては、本年度構築したSDGsにかかるネットワークを活用し、大学間連携事業の実施などさらなる取組の充実・深化を図ってまいりたい。

(1) 事業のあり方

大学間連携によるSDGs関連活動を行うとともに、学生の視点を活かしたSDGsを切り口にした滋賀の魅力を発信するための動画コンテンツ制作を業者委託により行う。

(2) コンセプト

学生による滋賀のSDGsや地域の魅力の発信

(3) 目的

- ① 地域の人々と交流を通して地域を理解する。
- ② 国連の「持続可能な開発目標」(SDGs)を始めとする国際的な課題について学ぶ。
- ③ 学生が大学の垣根を越えて交流・学習する。
- ④ 琵琶湖だけではない滋賀の奥深い魅力を発信する。
- ⑤ 事業の取り組み、成果を幅広い層に発信する。
- ⑥ プロジェクトでの取り組みを通じて、学生の学びと成長に寄与する。

(4) 活動内容

滋賀県の13大学から選出された学生および教職員でチームを編成し、コンセプトに沿った活動を行う。具体的には予算の範囲内で参加学生が県内のSDGsの取組やSDGsを切り口とした滋賀の魅力を発信するための動画コンテンツの制作を映像制作会社に委託する。動画の制作は、参加学生と各大学の教職員、映像制作会社が協働で行い、完成した「滋賀のSDGs・PR動画」は、環びわ湖大学・地域コンソーシアム等のホームページに掲載し、事業の成果物として発信する。

(5) 事業の進め方

① 参加学生の募集

各大学2名以内を目安に事業に参加する学生を選出する。平成30年度参加学生が継続して参加することが望ましいがこの限りではない。

- ② 各大学におけるSDGs関連事業の取組
勉強会や交流会等の体験を通じて、参加学生がSDGsにかかる理解を深め、それぞれの大学における取組を推進し、発信するとともに大学間ネットワークを構築する。
- ③ 「滋賀のSDGs・PR動画」制作
参加学生、事業担当教職員、映像制作会社の協働により、「滋賀のSDGs・PR動画」を制作する。動画のコンセプト、撮影の流れについては、映像制作会社にも打ち合わせに入ってもらった上で決定する。
- ④ 地域連携フェスタへの参加
地域連携フェスタに参加し、各大学のSDGsにかかる取組の発信
- ⑤ 次年度に向けた効果検証会議の開催
2019年度学生支援事業の到達点と次年度に向けた課題について振り返りを行う。

2. 予算

① 滋賀県魅力発信活動に関わる諸経費 (会議交通費、現地訪問時の交通費、交流費等)	<u>150,000 円</u>
② 映像制作会社依頼費	<u>850,000 円</u>
合計	<u>1,000,000 円</u>

3. 学生支援事業部会の組織体制について

平成30年度に引き続き、主担当・滋賀県立大学、副担当・立命館大学、びわこ学院大学で運営する。

4. 今後の進め方

2019年4月以降に滋賀県立大学より学生支援事業に関する諸連絡を行う。

2019(平成31)年度 就職支援事業部会 事業計画

平成 30 年度は、滋賀で就職を考える学生に合同企業説明会等の情報提供を行うとともに、「しが就活塾」などに滋賀県などと一緒に取り組んだ。

引き続き、「学生の県内就職準備活動の支援」に活動の重点を置き、「しが就活塾」について関係機関等と合同開催に取り組むとともに、インターンシップの促進や学生の就業促進について、県やCOC+の取り組みを支援する。

1. 学生の就職に直結する事業

(1) 合同企業説明会の支援

行政機関、経済団体等と協力し、滋賀県内の優良企業を広く学生に認知を促すとともに、より多くのマッチングを実現するために平成 30 年度同様、県・市・経済団体等が開催する合同企業説明会に共催・協力として取り組む。

<2019 年度開催計画>

平成 30 年度と同様、以下の予定を基本に協力していく。

- ・共催：湖北地区 1 回、東近江地区 1 回、大津地区 1 回
 - ・協力：湖北地区 1 回、湖東地区 1 回、東近江地区 2 回、湖南地区 2 回
 - ・その他：湖北地区 1 回、湖東地区 2 回、甲賀地区 2 回、高島地区 1 回
- 計 15 回

(2) 企業採用経験者による模擬面接会

滋賀経済産業協会の協力により、実施を希望する大学向けに企業採用担当者による模擬面接会を実施する。

2. 学生の就職準備支援に関する事業

学生の就職準備として、就職年次生だけではなく低年次生にも地元企業の魅力に触れる機会を創出することを目的とし平成 24 年度から開始した事業であり継続して実施する。過去の事業実施成果としては、以下のとおり。

平成 25 年度 企業訪問会 ※平成 25 年度以降、滋賀県中小企業団体中央会と協力

平成 26 年度 企業訪問会、ミニインターンシップ

平成 27 年度 企業訪問会、滋賀の企業研究セミナー

平成 28 年度 「環びわ・しが就活塾」業界研究、ワークショップ

平成 29 年度 「環びわ・しが就活塾」業界研究、ワークショップ

平成 30 年度 「環びわ・しが就活塾」業界研究、ワークショップ

2019 年度 「環びわ・しが就活塾」業界研究、ワークショップ（予定）

※企画内容については、滋賀県商工観光労働部・滋賀県中小企業団体中央会と協議し決定する。

3. 大学就職担当者と企業人事採用担当者との情報交換事業

地元優良企業への採用と定着を踏まえ、経済2団体（滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会）を通じて企業人事採用担当者と加盟大学就職担当者との情報交換を行い、学生の就職支援に繋げることを目的として開催する。

- ・情報交換会の内容（予定）

大学担当者と企業人事採用担当者との情報交換会

4. 大学就職担当者間の情報交換事業

平成30年度は、各大学の就職担当者向けに、「障がいのある学生の支援」、「キャリア支援者の面接スキルの向上」をテーマにした研修会を開催した。本年度も加盟大学の意見や要望を集約して、就職担当者の力量向上のために外部講師等を活用した研修会を企画し実施していく。

5. 就職支援関係機関連絡会議

関係機関と調整のうえ開催する。

6. 予算案

就職支援事業	250,000円	(200,000円)
(1) 合同企業説明会の支援	0円	(0円)
(2) 学生の就職準備事業（環びわ・しが就活塾）	150,000円	(100,000円)
(3) 大学就職担当者・企業人事担当者情報交換会	50,000円	(50,000円)
(4) 大学就職担当者の研修会	50,000円	(50,000円)
(5) 就職支援関係機関連絡会議	0円	(0円)

* () は平成30年度予算

以上

2019(平成31)年度 単位互換事業部会 事業計画

1. 2019 年度環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換事業計画(第3回幹事会にて報告)

2019(平成31)年度の単位互換事業については、2018年11月14日に開催した、第2回単位互換事業委員会・教務担当者合同会議にて審議がなされ、原則としては従来の実施方策にもとづいて事業を進めることとし、承認された。

現在は、同会議で承認された、以下の「2019(平成31)年度 単位互換事業開講・出願スケジュール」に則り、時間割編成等に着手している。

なお、出願等の各種書類フォーマット、および、事業告知に使用するポスター・リーフレットのデザインについても、今年度を踏襲して使用することとなった。

《 2019 年度単位互換事業開講・出願スケジュール 》

月 日	教 務 日 程	備 考
1月18日(金)	【開講】2019年度提供科目報告期限	所定 フォーマット
2月25日(月) 【厳守】	【開講】2019年度開講科目シラバス最終原稿締切	
3月中旬	【開講】2019年度「募集ガイド」HP掲載	
4月上旬	【出願受付】募集ガイダンス・出願受付	
～4月9日(火)	【出願受付】出願受付 <各大学> ※許可発表以前に開講される科目は、仮受講を認める。	各大学の状況に応じて設定
4月11日(木) 17:00【厳守】	【出願受付】「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	所定 フォーマット
4月12日(金) ～4月17日(水)	【出願受付】出願者の選考 <科目提供大学>	
4月19日(金) 17:00【厳守】	【出願受付】選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学、事務局大学>	所定 フォーマット
4月22日(月) ～4月23日(火)	【出願受付】許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時	【出願受付】受講登録	所属大学で 随時
4月25日(木) ～5月7日(火)	【追加募集】追加募集対象科目の選考 <科目提供大学>	
5月8日(水) 17:00【厳守】	【追加募集】追加募集対象科目の報告 <各大学→事務局大学> ※夏期集中・後期科目を対象とする。	所定 フォーマット
5月10日(金)	【追加募集】追加募集対象科目一覧の送付 <事務局大学→各大学>	
5月20日(月) ～6月3日(月)	【追加募集】追加募集受付 <各大学> ※許可発表以前に開講される科目は、仮受講を認める。	各大学の状況に応じて設定
6月6日(木) 17:00【厳守】	【追加募集】追加募集「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	
6月7日(金) ～14日(金)	【追加募集】追加出願者の選考 <科目提供大学>	所定 フォーマット
～6月18日(火) 17:00【厳守】	【追加募集】追加募集選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学、事務局大学>	所定 フォーマット

6月19日(水) ～6月26日(水)	【追加募集】許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時	【追加募集】追加募集許可者の受講登録	所属大学で 随時
7月29日(月) ～8月6日(火)	【再追加募集】追加募集対象科目の選考 <科目提供大学>	
8月16日(金) 17:00【厳守】	【再追加募集】追加募集対象科目の報告 <各大学→事務局大学> ※後期科目を対象とする。	所定 フォーマット
8月19日(月)	【再追加募集】追加募集対象科目一覧の送付 <事務局大学→各大学>	
8月20日(火) ～8月30日(金)	【再追加募集】追加募集受付 <各大学>※許可発表 以前に開講される科目は、仮受講を認める。	各大学の状況 に応じて設定
9月3日(火) 17:00【厳守】	【再追加募集】追加募集「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	
9月4日(水) ～9月11日(水)	【再追加募集】追加出願者の選考 <科目提供大学>	所定 フォーマット
～9月13日(金) 17:00【厳守】	【再追加募集】追加募集選考結果連絡 <科目提供大 学→学生所属大学および事務局大学>	所定 フォーマット
9月18日(水) ～9月24日(火)	【再追加募集】許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時	【再追加募集】追加募集許可者の受講登録	所属大学で 随時

2. 2019年度環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換事業提供科目

2019年度における提供科目数は76科目であり、2018年度における提供科目数67科目に比べて9科目増加した。受講者数が減少傾向にあるため、提供科目について加盟大学がご協力いただいている。また、学生が受講しやすい「集中講義」科目については、1科目増加して11科目、「おうみ学生未来塾」は、2018年度と同数の3科目を開講する。

科目番号	提供大学	科目名	単位	回生	単位互換定員	開講期間	曜日	時限
1	滋賀大学	データサイエンスへの招待	2	1以上	10名程度	春学期	月	3
2		数学への招待	2	1以上	10名程度	春学期	火	2
3		言語と文化	2	1以上	10名程度	春学期	水	2
4		欧米の歴史	2	1以上	10名程度	春学期	水	4
5		国際文化システム特殊講義 (世界遺産学)	2	1以上	10名程度	春学期	金	4・5
6		欧米の文化	2	1以上	10名程度	春学期集中	-	-
7		芸術と文化	2	1以上	10名程度	秋学期	火	3
8		歴史からの問い	2	1以上	10名程度	秋学期	木	3
9		現代の企業と経営	2	1以上	10名程度	秋学期	金	3
10		自然科学への招待	2	1以上	10名程度	秋学期	金	4
11		身体運動の科学	2	1以上	10名程度	秋学期集中	-	-
12		彦根・湖東学	2	1以上	10名程度	秋学期集中	土	

科目番号	提供大学	科目名	単位	回生	単位互換定員	開講期間	曜日	時限
13	滋賀医科大学	哲学入門	2		10	前期	火	2
14		医療イノベーションの基礎	2		若干名	前期	水	4
15	滋賀県立大学	近江の美	2	不問	10名程度	前期	月	4
16		おうみ学生未来塾(湖東)	2	2以上	30名(全定員)	夏期集中	-	-
17		SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション -近江の暮らしとなりわい-	2	不問	100名(全定員)	夏期集中	-	-
18		近江の歴史と文化	2	不問	10名程度	後期	月	4
19		びわこ環境行政論	2	不問	10名程度	後期	月	4
20		地域産業・企業から学ぶ社長講義	2	不問	10名程度	後期	月	4
21	滋賀短期大学	パティスリーラッピング	1	2以上	若干名	後期	金	1
22		心理学	2	1以上	若干名	後期	木	1
23		現代社会と福祉	2	1以上	若干名	後期	木	1
24		ことばと人間	2	1以上	若干名	前期	木	1
25		秘書実務Ⅰ	1	1以上	若干名	前期	月	5
26		秘書実務Ⅰ	1	1以上	若干名	前期	水	3
27		秘書実務Ⅱ	1	1以上	若干名	後期	水	4
28		秘書実務Ⅱ	1	1以上	若干名	後期	水	5
29		オフィス総論	2	1以上	若干名	前期	金	3
30		地域ビジネス論	2	1以上	若干名	後期	火	2
31		滋賀文教短期大学	現代の文学	2	1以上	若干名	春	調整中
32	近現代詩		2	1以上	若干名	秋	調整中	調整中
33	成安造形大学	近江学A	2	1以上	若干名	前期集中	-	-
34		文化史A	2	2以上	若干名	後期	木	2
35		琵琶湖の民俗史	2	1以上	若干名	後期集中	-	-
36		デザイン史概説A	2	1以上	若干名	前期	火	1
37		デザイン史概説B	2	1以上	若干名	後期	火	1
38		東洋・日本美術史概説A	2	1以上	若干名	前期	水	1
39		東洋・日本美術史概説B	2	1以上	若干名	後期	水	1
40		西洋美術史概説A	2	1以上	若干名	前期	木	1
41		西洋美術史概説B	2	1以上	若干名	後期	木	1
42	聖泉大学	滋賀論	2	2	若干名	前期集中	-	-
43		心理学概論A	2	1	若干名	前期	木	5
44		運動心理学	2	1	若干名	前期	火	1

科目番号	提供大学	科目名	単位	回生	単位互換定員	開講期間	曜日	時限
45	長浜バイオ大学	生物学基礎	2	1以上	5名以内	前期	水	1
46		基礎微生物学	2	2以上	5名以内	前期	月	2
47		遺伝子工学	2	2以上	5名以内	後期	火	3
48		おうみ学生未来塾(湖北)	2	2以上	全定員36名	夏期集中	-	-
49	びわこ学院大学	子ども学総論	2	1以上	若干名	春学期		
50		滋賀の環境	2	1以上	若干名	秋学期		
51		メンタルトレーニング論	2	2以上	若干名	春学期		
52		スポーツバイオメカニクス	2	2以上	若干名	秋学期		
53		レクリエーション論	2	1以上	若干名	春学期		
54		生活と福祉	2	1以上	若干名	秋学期		
55	びわこ成蹊スポーツ大学	スポーツバイオメカニクス						
56		地球の歴史と琵琶湖						
57	龍谷大学	里山学	2	1以上	10名	前期	月	3
58		生活の中の数学	2	1以上	15名	前期	水	3
59		環境と人間A	2	2以上	20名	後期	月	2
60		社会貢献論	2	2以上	不問	前期	火	2
61	龍谷大学	性と人権	2	2以上	不問	後期	月	2
62		社会企業論	2	2以上	不問	後期	火	3
63		コミュニティ論	2	1以上	不問	後期	火	4
64		まちづくり論	2	2以上	不問	後期	水	1
65		びわ湖・滋賀学	2	2以上	不問	後期	水	1
66		食と嗜好の科学	2	1以上	20名	後期	月	4
67		植物生理・生化学 I	2	1以上	20名	後期	火水	2 1
68		日本・京滋の食料と農業	2	1以上	20名	後期	木	2
69	立命館大学	ODA・国際援助論(E)	2	3	10名程度	夏集中 I もしくは II		
70		経済学特殊講義 II (金融・証券分析基礎)	2	2	10名程度	夏集中 I もしくは II		
71		科学と技術の歴史(TB)	2	1	10名程度	秋学期		
72		情報技術と社会(TA)	2	1	10名程度	春学期		
73		科学・技術と社会(C)	2	1	10名程度	春学期		
74		生命科学概論	2	1	10名程度	春学期		
75		薬学概論	2	1	5名程度	春学期		
76		スポーツマネジメント論	2	2	10名程度	春学期		

3. 予算案	1,400,000 円	
① 単位互換パンフレットの内容更新・印刷		50 万円
② 「おうみ学生未来塾」開講助成 (300 千円×3 大学)		90 万円

2019(平成31)年度 広報事業計画

1. ホームページのデザイン変更、レンタルサーバーの移転、

課題であるレンタルサーバーの移転について、平成30年度の契約更新時期までに、ホームページのデザイン変更作業を進めることができなかったために、移転先の策定等を行うことができなかった。

2019(平成31)年度のレンタルサーバー更新時期までにホームページのデザイン変更を進め、レンタルサーバーを移転させる。

2. ホームページの更新

定例的にホームページ掲載している内容を随時更新し、当コンソーシアムの取り組み内容等の周知を図る。また、掲載するためのデータ作成のために必要なソフトを購入する。

また、関係団体のイベント情報も随時掲載し、地域との連携の更なる強化を図る。

3. 予算

① PCソフト購入	<u>240,000 円</u>
② レンタルサーバー契約料	<u>60,000 円</u>
合計	<u>300,000 円</u>